



仙北市

文化を
旅する



秋田で生まれた日本画の新しいカタチ―秋田蘭画。



上 佐竹曙山筆「菖蒲に洋刀図」(部分)
下 佐竹義躬筆「岩に牡丹図」(部分) 秋田県立近代美術館所蔵

小田野直武筆「笹に白兔図」(部分)
秋田市立千秋美術館所蔵

第29回国民文化祭・あきた2014

江戸に花開いた秋田の文化

会期 平成26年10月4日(土)～11月3日(祝)

角館町平福記念美術館

〒014-0334 秋田県仙北市角館町表町上丁4-4 ☎0187-54-3888

角館樺細工伝承館

〒014-0331 秋田県仙北市角館町表町下丁10-1 ☎0187-54-1700



秋田県マスコット スギンチ



あきたびじん

第29回国民文化祭・あきた2014

江戸に花開いた秋田の文化

会期 平成26年10月4日(土)～11月3日(祝)

時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 入館料 一般(高校生以上)300円 中学生以下200円(伝承館は150円)

— ごあいさつ —

第29回国民文化祭・あきた2014が開催される今年、仙北市でも数多くの関連イベントが行われます。そのうちのひとつとして、角館町平福記念美術館、角館樺細工伝承館では二館合同企画展「江戸に花開いた秋田の文化」を開催します。

平福記念美術館では、秋田蘭画作品をはじめ、秋田蘭画と関連のある同時代の貴重な絵画作品・資料あわせて約60点を展示します。

樺細工伝承館では、佐竹北家や武家に伝世する資料、樺細工や白岩焼の名品を多数展示します。

10月5日には、仙北市角館交流センターを会場に、秋田蘭画が誕生した時代背景、また江戸時代美術史上で果たした役割などについて講師をお招きして記念講演とシンポジウムを開催します。

ぜひ、この機会に秋田・仙北市が誇る文化芸術の粋をご堪能ください。

展示作品紹介(一部)



佐竹曙山筆 「寒山図」
秋田市立千秋美術館所蔵



佐竹義躬筆 「桜花図」
神戸市立博物館所蔵



小田野直武筆 「岩に秋海棠と蛙図」
秋田市立千秋美術館所蔵



白岩焼創始者
松本運七作「角皿」



樺細工創始者
藤村彦六作「鞘入三段印籠」



佐竹義文編 『花葉集』(上下巻)

講演・シンポジウム

日時 平成26年10月5日(日) 午後1時～午後5時
会場 仙北市角館交流センター

記念講演会 (午後1時～2時15分)
テーマ 『秋田蘭画が生まれた時代』
講師 田中優子氏 (法政大学総長)

シンポジウム (午後2時30分～午後5時)
テーマ 『文化の十字路口としての秋田蘭画』
コーディネーター 高階秀爾氏 (大原美術館館長)

パネラー
今橋理子氏 (学習院女子大学教授)
河野元昭氏 (京都美術工芸大学学長)
佐藤道信氏 (東京芸術大学教授)

問い合わせ先 樺細工伝承館 (TEL 0187-54-1700)

